

米国メキシコ湾 超深部高温高圧層からの天然ガス産出確認について

当社(社長:古関 信)が100%出資する米国法人JX Nippon Oil Exploration (Gulf) Limited(社長:大村 直司)は、権益を保有する米国メキシコ湾South Marsh Island 230鉱区 デイビー・ジョーンズ構造の超深部高温高圧層からの天然ガスの産出をフローテスト(※1)により確認いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、オペレーターのマクモラン社(本社:米国)等と共同で、2009年8月よりデイビー・ジョーンズ構造における探鉱事業を推進して参りました。2010年1月には、South Marsh Island 230鉱区から本構造に対して掘削した試掘井(※2)により超深部における天然ガスの胚胎を確認し、2011年2月には、隣接するSouth Marsh Island 234鉱区から掘削した評価井(※3)により、本構造内での天然ガスの広がりを確認しております。その後、前述の試掘井において、天然ガスフローテストを実施すべく準備を進めておりました。

デイビー・ジョーンズ構造は、ルイジアナ州の沖合約25キロメートル、水深約6メートルの浅海域の超深部に位置しております。浅海超深部の探鉱・開発は米国メキシコ湾でも未開拓の領域であり、この浅海超深部からの天然ガスの産出を実証したことは、大きな意味を持つものと考えております。今後は、更なるテスト・評価作業を通じ、埋蔵量および生産能力等を確認した上で、早期の天然ガス生産開始に向けて本事業を進めていく予定です。

当社グループは、生産中の油・ガス田が多く事業機会が豊富な米国において、資源の確保および収益力の着実な向上に向けて一層の努力を続けて参ります。

※1…試験的に坑井を開け閉めして、坑井の生産能力、油・ガス層の性状(油・ガスの成分、圧力、浸透率、その他)を解析・分析するための重要なデータを取得する作業。これらの把握は今後の開発計画の策定や経済性の分析に必要不可欠。

※2…掘削深度約8,800メートル

※3…掘削深度約9,300メートル

【権益保有会社】

権益保有者	権益比率 (%)	概要
McMoRan Oil & Gas LLC (オペレーター)	63.36	米国メキシコ湾で活動する米系探鉱開発会社
Energy XXI GOM, LLC	15.84	米国メキシコ湾で活動する米系探鉱開発会社
JX Nippon Oil Exploration (Gulf) Limited	12.00	JX日鉱日石開発の孫会社
Moncrief Offshore LLC	8.80	米国メキシコ湾で活動する米系探鉱開発会社
合計	100.0	

以 上

1. JX Nippon Oil Exploration (Gulf) Limited の概要

- (1) 社 長：大村 直司
- (2) 株 主：JX Nippon Oil Exploration (U.S.A.) Limited (※) 100%
- (3) 資本金：1,000米ドル
- (4) 設 立：2011年8月1日
- (※) 当社100%出資

2. South Marsh Island 230 鉱区位置図

